

バジル

Basil

Holy Basil

*(Ocimum basilicum L.)*

*(Ocimum tenuiflorum L.)*

## バジル審査基準

### I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、シソ科 (Lamiaceae) のメボウキ属 (*Ocimum* L.) のバジル種 (*O. basilicum* L.) 及びカミメボウキ種 (*O. tenuiflorum* L.) とそれらの交雑種のすべての品種に適用する。

### II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 種子又は発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 6g 又は 4,000 粒  
栄養繁殖性品種の場合 40 個体
- iv) 提出する種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。
- v) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- vi) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種 40 個体 (2 区以上に分割)  
栄養繁殖性品種 20 個体 (2 区に分割)
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法  
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。  
均一性は供試した全ての個体で判定する。  
調査時期等 特に指示がない限り、開花盛期 (主花穂の最初の花が終花した頃) に行う。  
特性表の調査方法の欄の(a)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。  
(a) 葉の形質は植物体中央部の十分に生長した典型的な葉で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

### IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

他家受粉品種においては、上記一般基準の第 4 の 2 (2) を適用する。

## V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 草姿 (形質1)
- ii) 茎の毛の多少 (形質4)
- iii) 葉身の表面のアントシアニン着色の強弱 (形質8)
- iv) 花冠の色 (形質23)
- v) 開花始期 (種子繁殖性品種に限る。) (形質25)

## VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

(\*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

G : グループ分けに使用する形質

(+) : 特性表の説明を参照

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

## 状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	U P O V №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	PQ (* (+) G	草姿	Plant: growth habit	花穂伸長前の植物体が十分生長した時の草姿	観察 VG	1 2 3	直立 やや直立 半直立	upright upright to semi upright semi upright	ダークオパール  Piccolino	
2	2	QN (* (+)	草丈	Plant: height	地際から先端部までの高さ	測定 MS cm	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Piccolino ダークオパール、オオヤ トウルシー ジェノベーゼ	
3	3	QN (+)	茎のアントシアニン着色の強弱	Stem: anthocyanin coloration	茎のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ジェノベーゼ ラマ トウルシー  ダークオパール	
4		QN (+) G	茎の毛の多少	Stem: hairiness	茎の毛の多少	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very sparse sparse medium dense very dense	イタリアンラージリーフ  ラマ トウルシー	
5	4	PQ (* (+)	葉身の形	Leaf blade: shape	葉身の形	観察 VG (a)	1 2 3 4	広卵形 卵形 楕円形 狭楕円形	broad ovate medium ovate medium elliptic narrow elliptic	ダークオパール オオヤ トウルシー	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定 MS cm (a)	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	Piccolino オオヤ トウルシー ダークオパール、クリ シュナ トウルシー イタリアンラージリーフ	
7	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の最大幅	測定 MS cm (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	オオヤ トウルシー ダークオパール、クリ シュナ トウルシー イタリアンラージリーフ	
8	7	QN (* G	葉身の表面のアントシアニン着色の強弱	Leaf blade: intensity of anthocyanin coloration of upper side	葉身の表面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ジェノベーゼ  Osmin	
9	8	PQ (* (+)	葉身の表面のアントシアニン着色の分布	Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration of upper side	葉身の表面のアントシアニン着色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4	主に脈に沿う 基部 基部と中央部 全面	mainly along veins on basal part on basal and central part throughout	ダークオパール	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10		QN	葉身の裏面のアントシアニン着色の強弱	Leaf blade: intensity of anthocyanin coloration of lower side	葉身の裏面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ジェノベーゼ  Osmin	
11		PQ (+)	葉身の裏面のアントシアニン着色の分布	Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration of lower side	葉身の裏面のアントシアニン着色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	主に脈に沿う 基部 基部と中央部 不規則 全面	mainly along veins on basal part on basal and central part irregular throughout	    ダークオパール	
12	9	QN (*)	葉身の緑色の濃淡 (アントシアニン着色の分布が全面の品種を除く。)	Leaf blade: intensity of green color	葉身の緑色の濃淡	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	Piccolino ジェノベーゼ	
13	10	QN	葉身の光沢の強弱	Leaf blade: glossiness	葉身の光沢の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	Piccolino ジェノベーゼ	
14	11	QN (*)	葉身の凹凸の強弱	Leaf blade: blistering	葉身の凹凸の強弱	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	Piccolino ダークオパール ジェノベーゼ	

形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
			15	12				PQ (+)	葉身の横断面の形		
16	13	QN (* (+)	葉身の周縁部の鋸 歯の深さ	Leaf blade: serration of margin	葉身の周縁部の鋸歯の 深さ	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very weak weak medium strong very strong	Piccolino イタリアンラージリーフ ダークオパール	
17	14	QN	葉身の周縁部の波 打ちの強弱	Leaf blade: undulation of margin	葉身の周縁部の波打ち の強弱	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	Piccolino クリシュナ トウルシー	
18	15	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 MS cm (a)	1 2 3	短 中 長	short medium long	Piccolino、クリシュ ナ トウルシー ジェノベーゼ イタリアンラージリーフ	
19	16	QN (* (+)	花穂の長さ	Flowering stem: length	開花終期の主花穂の長 さ	測定 MS cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Piccolino Osmin イタリアンラージリーフ	

形質番号	UPOV No	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	17	QN (* (+)	花穂の節間長	Flowering stem: length of internodes	開花終期の主花穂の平均節間長	測定 MS cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Piccolino、ラマト ウルシー Osmin、ジェノベーゼ	
21	18	QN (+)	上がく片の毛の多少	Flower: hairiness of upper sepal	上がく片の毛の多少	観察 VG	1 2 3	少 中 多	weak medium strong	ジェノベーゼ Osmin	
22		QN (+)	花冠の長さ	Flower: length of corolla	花冠の基部から唇弁の先端までの長さ	測定 MS mm	1 2 3 4 5	短 やや短 中 やや長 長	short short to medium medium medium to long long	クリシュナ トウルシー Piccolino ジェノベーゼ、ダーク オパール	
23	19	PQ (* G	花冠の色	Flower: color of corolla	花冠の色	観察 VG	1 2 3 4	白 桃 淡紫 暗紫	white pink light violet dark violet	ジェノベーゼ オオヤ トウルシー ダークオパール	
24	20	PQ (*	花柱の色	Flower: color of style	花柱の色	観察 VG	1 2 3	白 淡紫 暗紫	white light violet dark violet	ジェノベーゼ オオヤ トウルシー Osmin	
25	21	QN (* (+ G	開花始期（種子繁殖性品種に限る。）	<u>Only seed-propagated varieties:</u> Beginning of flowering	10%の植物体の最初の花が完全に開花する時期	測定 MG 月日	3 5 7	早 中 晩	early medium late	Piccolino、オオヤ トウルシー ジェノベーゼ、ラマトウルシー クリシュナ トウルシー	

## VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

### 形質1 草姿 Char.1 Plant: growth habit

草姿の調査は、花穂が伸長する前の植物体が十分生長した時に行う。

Observations should be done on fully developed plants before elongation of the flowering stems.



1  
直立  
upright



2  
やや直立  
upright to semi upright



3  
半直立  
semi upright

### 形質2 草丈 Char.2 Plant: height

草丈は、植物体が十分生長した時に花穂を含め測定する。

The plant height should be measured on fully developed plants including the flowering stem.

### 形質3 茎のアントシアニン着色の強弱 Char.3 Stem: anthocyanin coloration

茎のアントシアニン着色は、花穂が伸長する前の植物体が十分生長した時の主茎で調査する。

The anthocyanin coloration should be observed on the main stem of fully developed plants before elongation of the flowering stems.

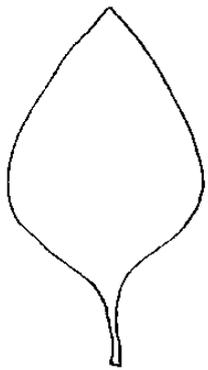
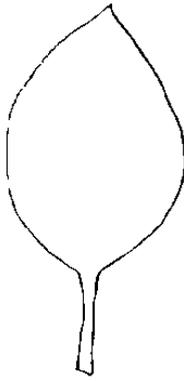
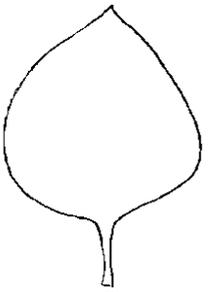
### 形質4 茎の毛の多少 Char.4 Stem: hairiness

茎の毛の多少は、花穂が伸長する前の植物体が十分生長した時の主茎で調査する。

形質5 葉身の形

Char.5 Leaf blade: shape

← 葉身の最広部 →	
中央より下	中央部

葉身の幅 (葉身の長さ/幅の比)	狭 (大)	 4 狭楕円形 narrow elliptic	
	葉身の幅 (葉身の長さ/幅の比)	 2 卵形 medium ovate	 3 楕円形 medium elliptic
	広 (小)	 1 広卵形 broad ovate	

形質9 葉身の表面のアントシアニン着色の分布

Char.9 Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration of upper side



1

主に脈に沿う  
mainly along veins



2

基部  
on basal part



3

基部と中央部  
on basal and central  
part



4

全面  
throughout

形質11 葉身の裏面のアントシアニン着色の分布

Char.11 Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration of lower side



1

主に脈に沿う  
mainly along  
veins



2

基部  
on basal part



3

基部と中央部  
on basal and  
central part



4

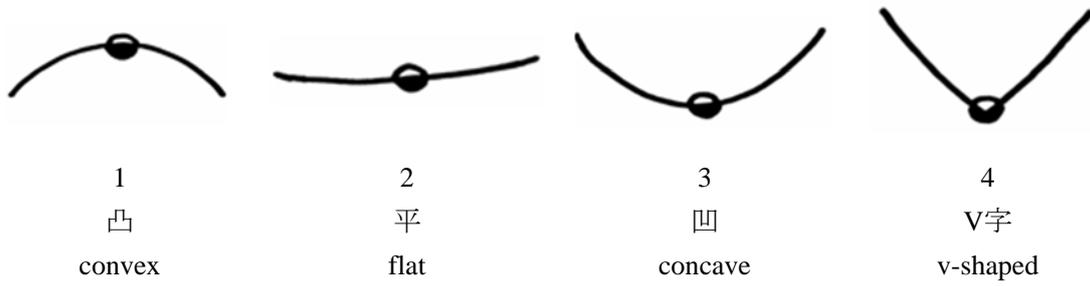
不規則  
irregular



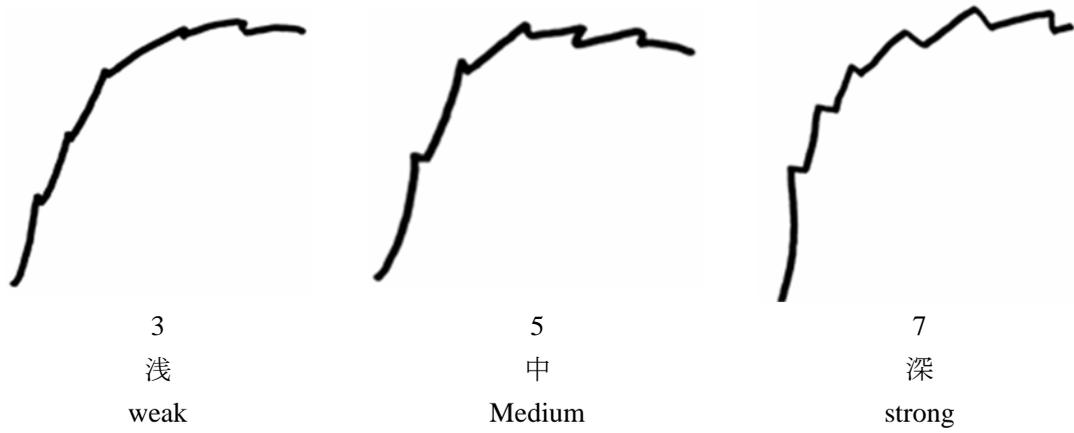
5

全面  
throughout

形質15 葉身の横断面の形 Char.15 Leaf blade: profile in cross section

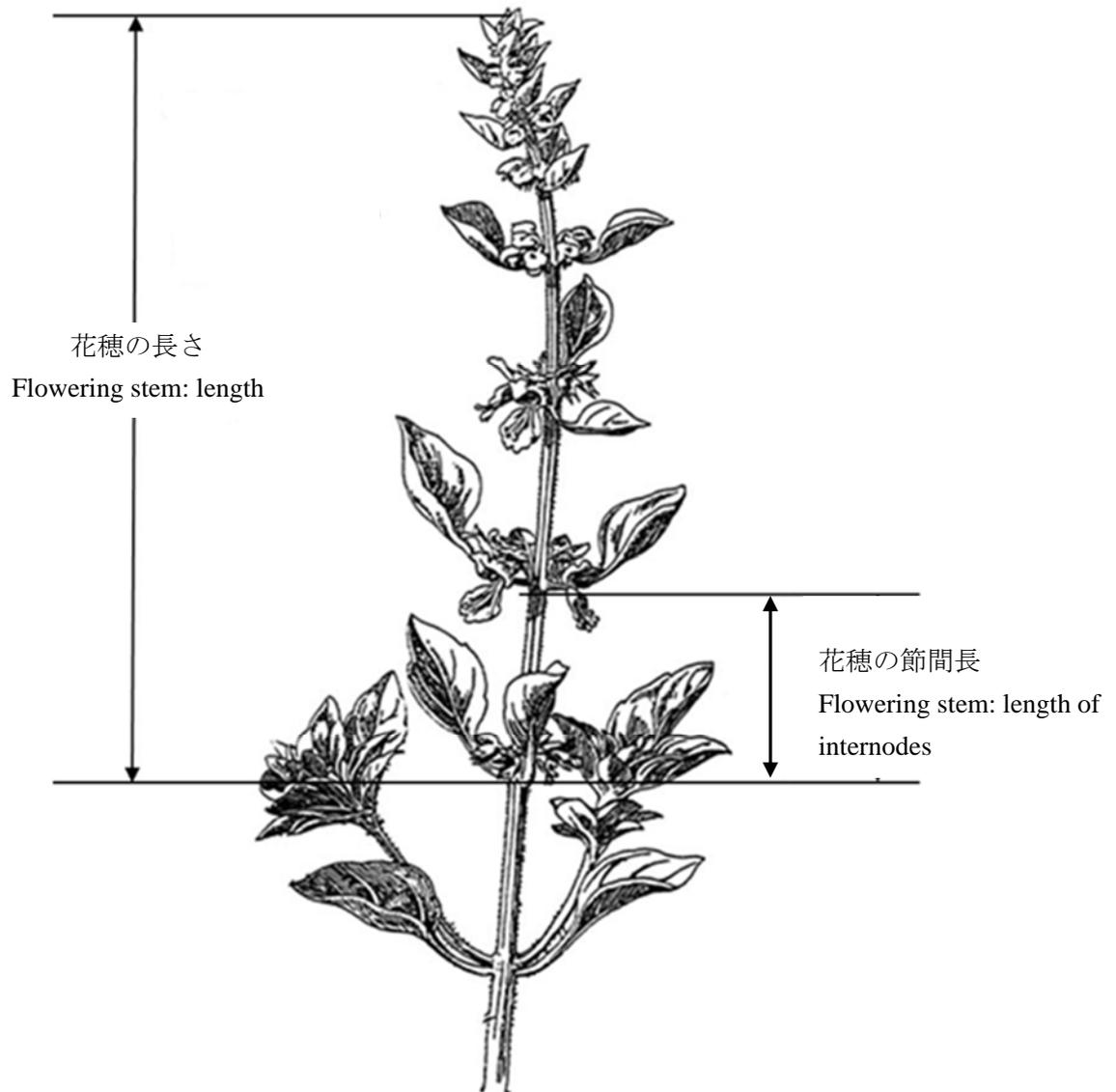


形質16 葉身の周縁部の鋸歯の深さ Char.16 Leaf blade: serration of margin



形質19 花穂の長さ Char.19 Flowering stem: length

形質20 花穂の節間長 Char.20 Flowering stem: length of internodes



花穂の長さは、主茎の主花穂を調査する。

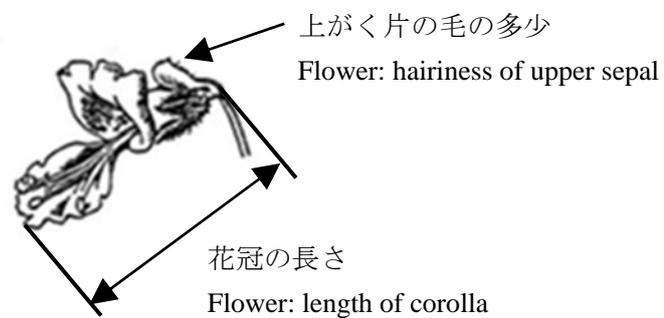
The length has to be observed on the main flowering stem.

花穂の節間長は、主茎の主花穂のすべての節間の平均として評価される。

The length of the internodes is observed as an average of all internodes on the main flowering stem.

形質21 上がく片の毛の多少 Char.21 Flower: hairiness of upper sepal

形質22 花冠の長さ Char.22 Flower: length of corolla



形質25 開花始期 (種子繁殖性品種に限る。)

Char.25 Only seed-propagated varieties: Beginning of flowering

開花始期は、10%の植物体の最初の花が完全に開花する時期とする。

The time of beginning of flowering is when the first flower has fully opened on 10% of the plants.